

令和 5 年度 入学 試験 問題

地 理 歴 史

100 点満点

◀配点は、一般選抜学生募集要項に記載のとおり。▶

地 理 B (1～12 ページ) 世界史 B (13～26 ページ)
日 本 史 B (27～41 ページ)

(注 意)

1. 問題冊子および解答冊子は監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は表紙のほかに 41 ページある。
3. 問題は地理 B 5 題，世界史 B 4 題，日本史 B 4 題である。
4. 試験開始後，選択した科目の解答冊子の表紙所定欄に学部名・受験番号・氏名をはっきり記入すること。表紙には，これら以外のことを書いてはならない。
5. 総合人間学部「文系」・文学部・教育学部「文系」・法学部「前期日程」・経済学部「文系」受験者は，地理 B・世界史 B・日本史 Bのうちから 1 科目選択すること。
6. 解答は，すべて解答冊子の指定された箇所に記入すること。
7. 解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがある。
8. 解答冊子は，どのページも切り離してはならない。
9. 問題冊子は持ち帰ってもよいが，選択した科目の解答冊子は持ち帰ってはならない。

地 理 B

(5 問題 100 点)

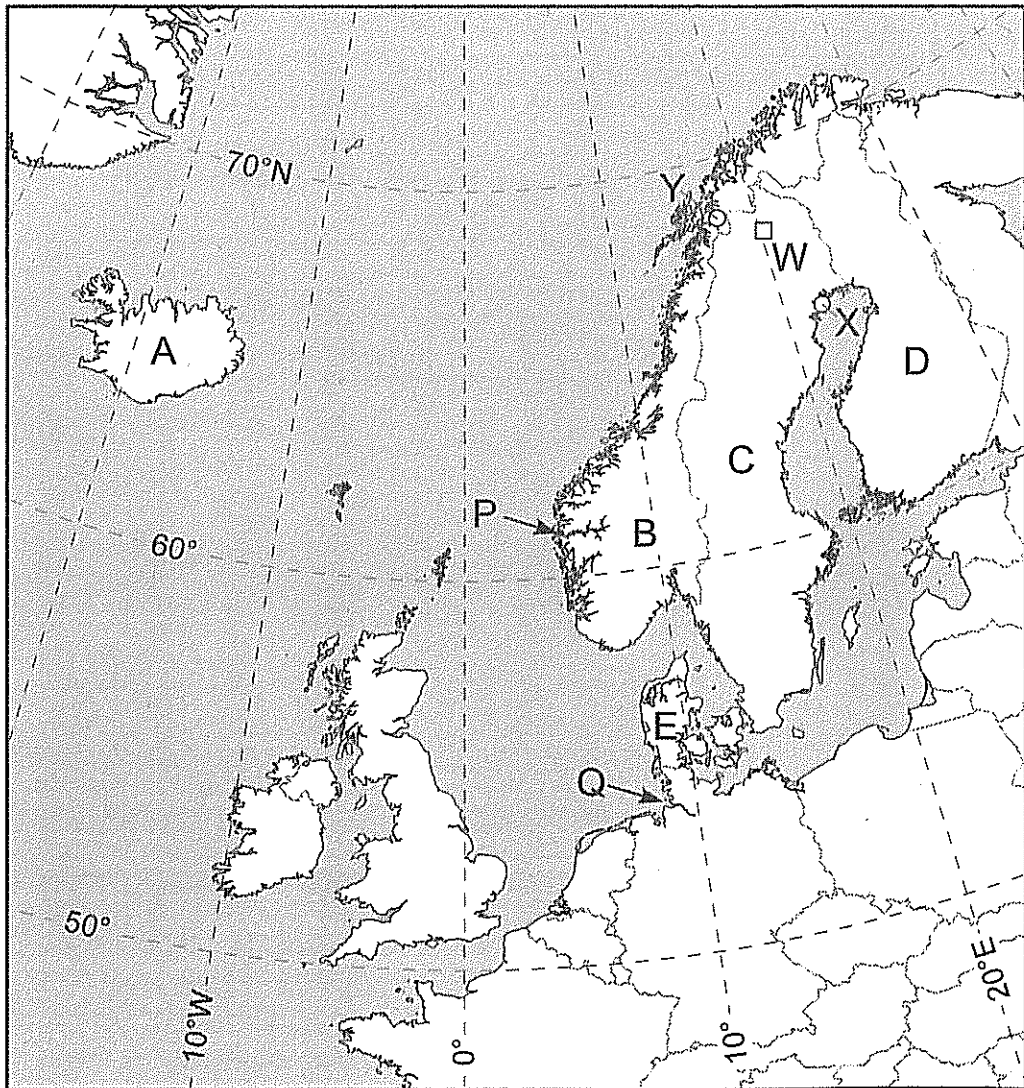
I

地理B問題

(20 点)

下の地図を見て、問(1)~(4)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。

字数制限のある問については、句読点も字数に含めよ。



問

- (1) 次の文の空欄に当てはまる語句を答えよ。

A国は北アメリカ とユーラシア の間の広がる境界上に位置し、付近の海底には、玄武岩質溶岩の噴出によって、南北に延びる長大な が形成されている。B国やC国のある半島は、かつて、約2万年前に極大期を迎えた の間に発達したスカンディナヴィア に厚く覆われていた。そのなごりとして、C国やD国の面する海の周辺では、 の末端部であった場所に堤防状に岩くずが堆積した が多く残されている。

- (2) 図中のPとQは、いずれも海岸線が陸側に入り込んだ入り江となっている。Qの入り江をつくる地形の名称を、解答欄①に答えよ。またQの成り立ちについて、Pとの共通点と相違点を、解答欄②に60字以内で述べよ。必要ならばPやQの記号を用いてもよい。
- (3) E国における再生可能エネルギーを利用した主要な発電の方法を、解答欄①に答えよ。また、それが採用されている自然環境的な要因を、解答欄②に30字以内で述べよ。
- (4) C国の北端付近に位置するWで、大量に採掘される鉱産資源の名称を、解答欄①に答えよ。また、それは鉄道で輸送され、XおよびYの港から輸出されるが、このうち冬季に主として使用される港の記号を、解答欄②に答えよ。さらにその港が冬季に使われる理由を、解答欄③に30字以内で述べよ。

II 地理B問題

(20点)

右ページの地図を見て、以下の文を読み、問(1)~(4)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については、句読点も字数に含めよ。

A 地域を含む山脈では、標高によって植生や生業が異なる。標高 3000 m 付近まではトウモロコシやムギ類などが栽培されるが、標高 3500 m 以上では **ア** が主な作物となる。A 地域の中で、農作物の栽培が困難な 標高 4000-4500 m 付近 では特徴的な生業が行われる。A 地域南部に位置する **イ** 塩湖(塩原)には、電池の材料として需要の増加が見込まれる **ウ** が大量に埋蔵されており、世界の注目を集めている。

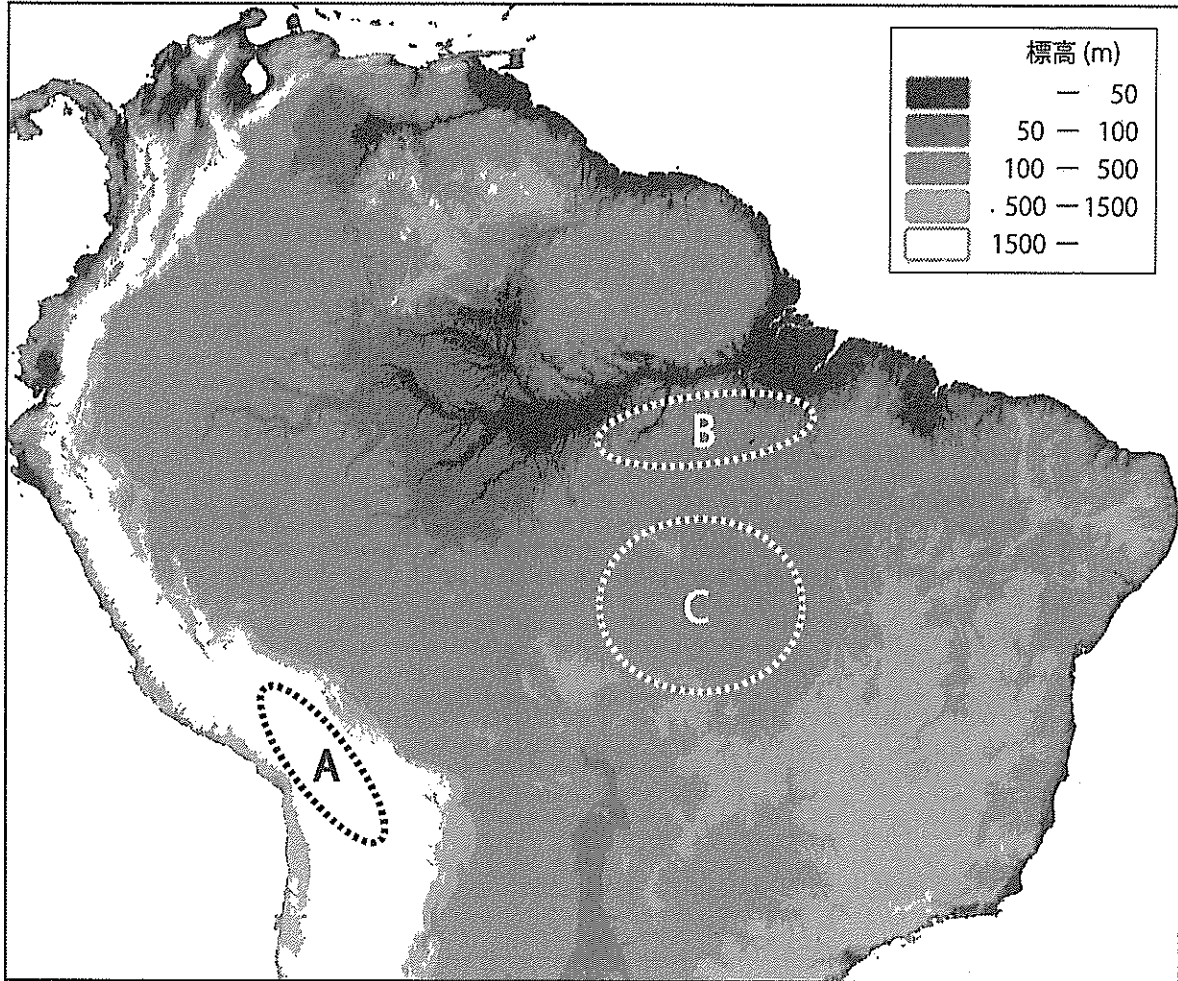
B 地域の伝統的な農法で栽培されてきた **エ** は、現在アジアやアフリカでも主食や副食、でんぷんの原料として利用されている。B 地域では、1970 年代に「土地なき人を、人なき土地へ」をスローガンに、東海岸から内陸に向かって建設された道路沿いに入植地がつくられた。その後、多くの大規模開発事業がすすめられるにつれて、環境劣化が問題視されるようになった。

C 地域では、現地では **オ** と呼ばれる疎林をともなう草原で、粗放的な牧畜が行われてきたが、1970 年代から国際協力によって農業開発事業がすすめられ、**カ** の大規模生産地が形成された。C 地域を含む国は、20 世紀前半に、ある農作物の生産と輸出に依存する経済構造を有していた。その後、産業構造の転換をはかり、1960 年代末から 1970 年代はじめにかけて、目覚ましい高度経済成長を遂げた。

問

- (1) 文中の **ア** ~ **カ** に当てはまる語句を答えよ。
- (2) 下線部 P と Q について、植生と生業の特徴を、下線部 P については解答欄①に、下線部 Q については解答欄②に、それぞれ 40 字以内で述べよ。
- (3) 下線部 R に関連して、このような政策を掲げる背景の 1 つとなっている都市問題について、20 字以内で述べよ。

(4) 下線部Sについて、農作物の名称を解答欄①に答えよ。また、このような経済構造の名称を解答欄②に答えよ。



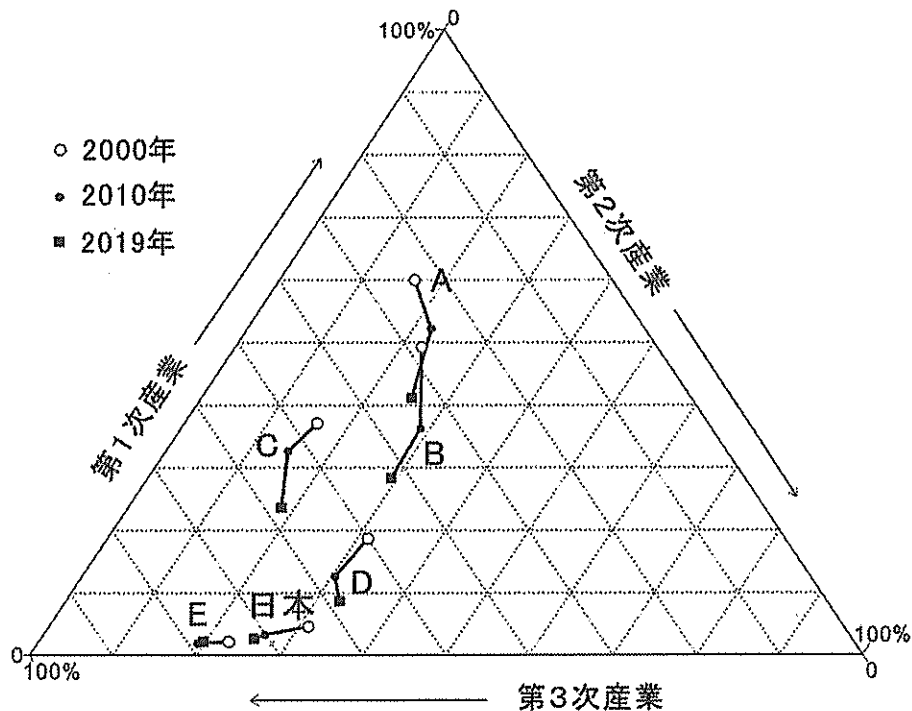
資料：国土地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp/>) など

Ⅲ 地理B問題

(20点)

グラフ1は、日本と世界の5カ国において、21世紀になって産業別就業人口の割合がどのように変化したのかを表している。グラフ1のA～E国は、アメリカ合衆国、インド、中国、フィリピン、ポーランドのいずれかである。グラフ1を見て、問(1)～(6)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については、句読点も字数に含めよ。

グラフ1 各国の産業別就業人口割合の変遷



資料：ILOSTAT (<https://ilostat.ilo.org/>)

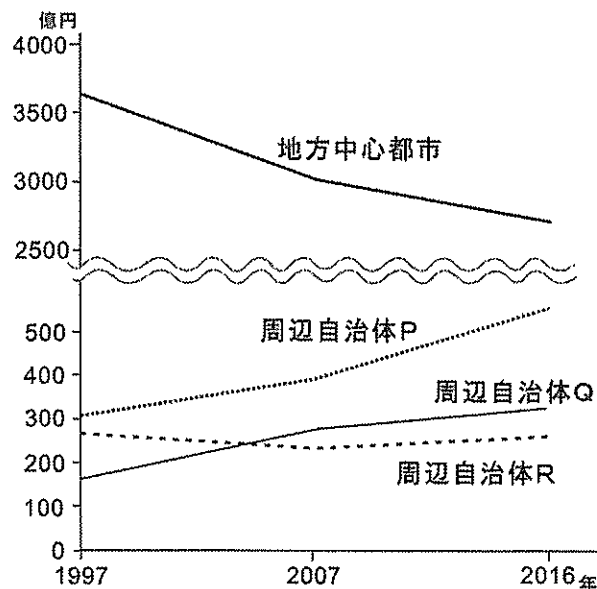
注：表記の年次の資料が得られない場合は直近の年次を使用している。

問

- (1) C国とD国に該当するのはいずれの国か答えよ。C国については解答欄①に、D国については解答欄②に答えよ。
- (2) B国においては、飲食店や商店、さらに屋台のような小さな店でも、現金での支払いが行われることが少なくなっている。現金に代わってどのような支払いの方法がとられているか、20字以内で述べよ。

- (3) A国においては、零細な小売店が商業の主体となってきたが、近年、大都市の郊外で、自動車産業や情報通信技術(ICT)産業の工場が集まる地区に、大規模な商業施設がつくられている。こうした動きは、A国の消費者のどのような変化を反映したものが、50字以内で述べよ。
- (4) E国においては、20世紀半ばから郊外に暮らす人が増え、人々の買い物の場となる大規模な商業施設が郊外につくられるようになった。この商業施設は一般にどのように呼ばれているか、解答欄①に答えよ。またこの商業施設の立地と施設に関する特徴について、解答欄②に30字以内で述べよ。
- (5) 日本において、都市住民の暮らしを支えてきた商店街は、その商圏の広さから近隣型、地域型、広域型に分けられる。それぞれの種類の商店街で扱われる商品の違いについて、50字以内で述べよ。ただし記述にあたっては「買い回り品」の語を用いること。
- (6) 次のグラフ2は、日本のある地方中心都市とその周辺自治体における小売業の年間商品販売額の推移を示したものである。この地方中心都市で市民に長く親しまれてきた百貨店が閉店することになった理由について、グラフ2から読み取れることを50字以内で述べよ。

グラフ2 地方中心都市と周辺自治体における小売業販売額の推移

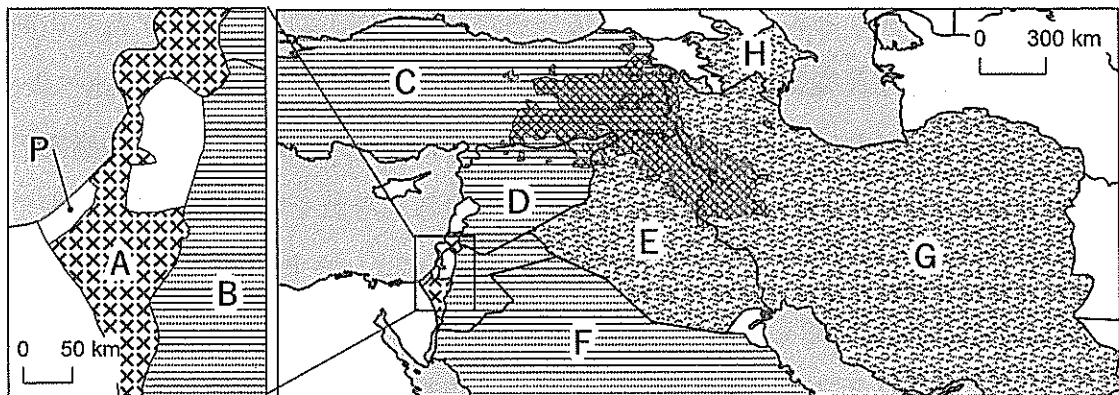


資料：県統計書

IV 地理B問題

(20点)

下の地図は、西アジアのA~H各国の人口比率が最も高い宗教(イスラームの場合は宗派)に加えて、民族Wの居住地を示している。下の地図を参照しながら右のページの文章を読み、問(1)~(4)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。



凡例

A~H各国で人口比率が最も高い宗教・宗派

■ イスラーム X 派

■ イスラーム Y 派

■ Z 教

■ 民族Wの居住地

資料：CIA World Factbook 2018

(<https://www.cia.gov/the-world-factbook/field/religions/>) など

A国は地図中のP(地区)を2000年代後半から経済封鎖し、幾度か侵攻した。2018年に、 の当時の大統領は をA国の首都として認め、大使館を移転させた。

は、1979年に で起こった革命の混乱に乗じて、国境紛争を抱えていた に侵攻した。両国間の戦争は、民族Wをめぐる問題も関連して複雑化した。

2011年から で起こった内戦は、政府を支持したロシアと反政府組織を支持した の介入、民族Wの武装組織など、複数の勢力が入り乱れて長期化している。

問

- (1) 文中の ~ に入る国名または地名を答えよ。
- (2) 文中の ~ に入る国名を地図のA~H国の中から選んで記号で答えよ。
- (3) 地図の凡例 , , に入る語句を答えよ。
- (4) 民族Wの名称を解答欄①に答えよ。民族Wが分布する地域の地形的特徴を解答欄②に述べよ。民族Wは人口が約3000万人にのぼるが、独立した国家を持っていない。その理由について、地図からわかることを解答欄③に述べよ。

V 地理B問題

(20点)

右ページの図1は、球磨川河口の5万分の1地形図(北部は平成14年修正・南部は平成17年要部修正)である(原寸大)。11ページの図2は、図1の中心市街地周辺における昭和40年測量の2万5千分の1地形図である(原寸大)。図3は、図2と同じ範囲の平成23年更新の2万5千分の1地形図である(原寸大)。これらの地形図を見て、問(1)~(5)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については、句読点も字数に含めよ。

問

- (1) 図1の中心市街地を含む球磨川河口部一帯の地形の名称を、解答欄①に答えよ。また、中心市街地よりも西側の土地のほとんどは、人工的に造成されたものである。この場所が人工的な土地造成に適していた理由を、自然環境の観点から、解答欄②に30字以内で述べよ。
- (2) 図1の「郡築一番町」から「郡築十二番町」にかけての土地は、標高に着目すると、どのような方法で造成されたと考えられるか、その方法の名称も含めて、解答欄①に30字以内で述べよ。また、図1における人工的な土地造成地の中に、造成以前には島であった場所がいくつかある。そのうちの2地点の地名を、解答欄②に答えよ。
- (3) 図2のA・B・Cの大型工場に共通する立地を、当時の市街地との関係及び交通の観点から、解答欄①に答えよ。また、図2と図3の比較をふまえて、工場をめぐる輸送環境の変化について、解答欄②に30字以内で述べよ。
- (4) 図3の中心市街地は、江戸時代には既に都市であったが、このような都市は一般に何と呼ばれるか、解答欄①に答えよ。また、江戸時代に都市の中核であった地域には、図3では、2つの機能に分類できる施設が集まっている。図3から、各機能に対応する地図記号を挙げつつ、それぞれの機能について、解答欄②に述べよ。
- (5) 図1には、図2と図3の3つの大型工場以外に、工場が集中している地区がある。その立地と交通上の利点について述べよ。

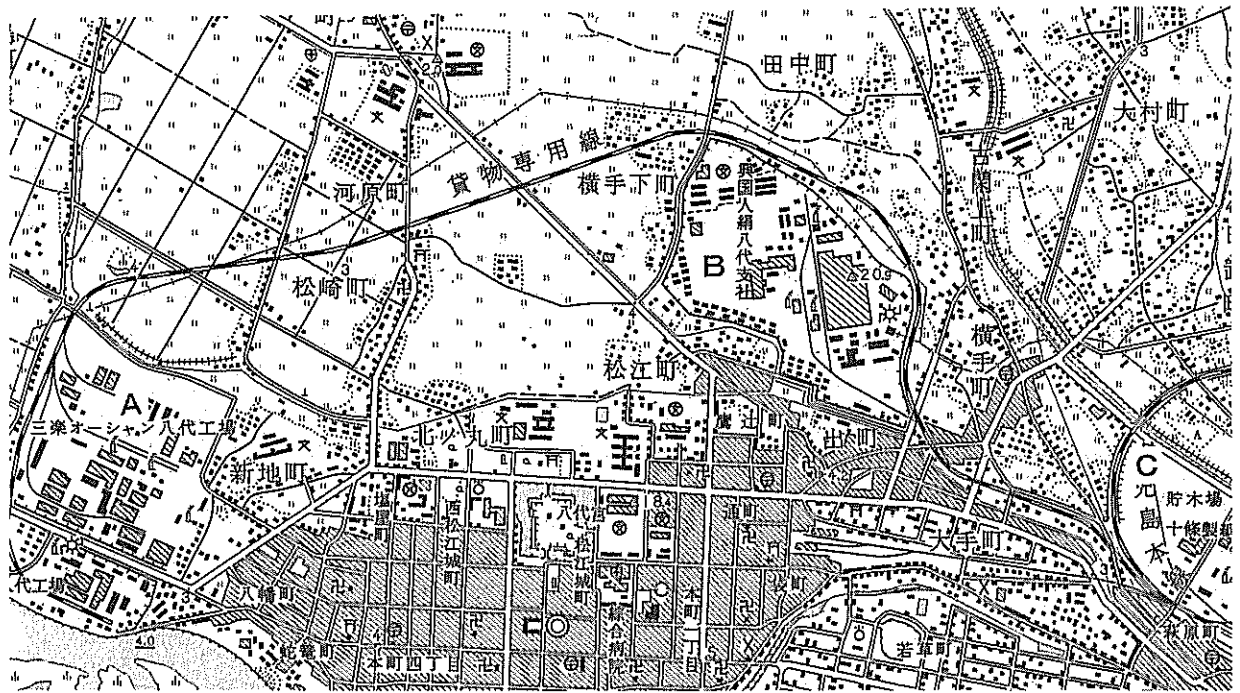


図 2

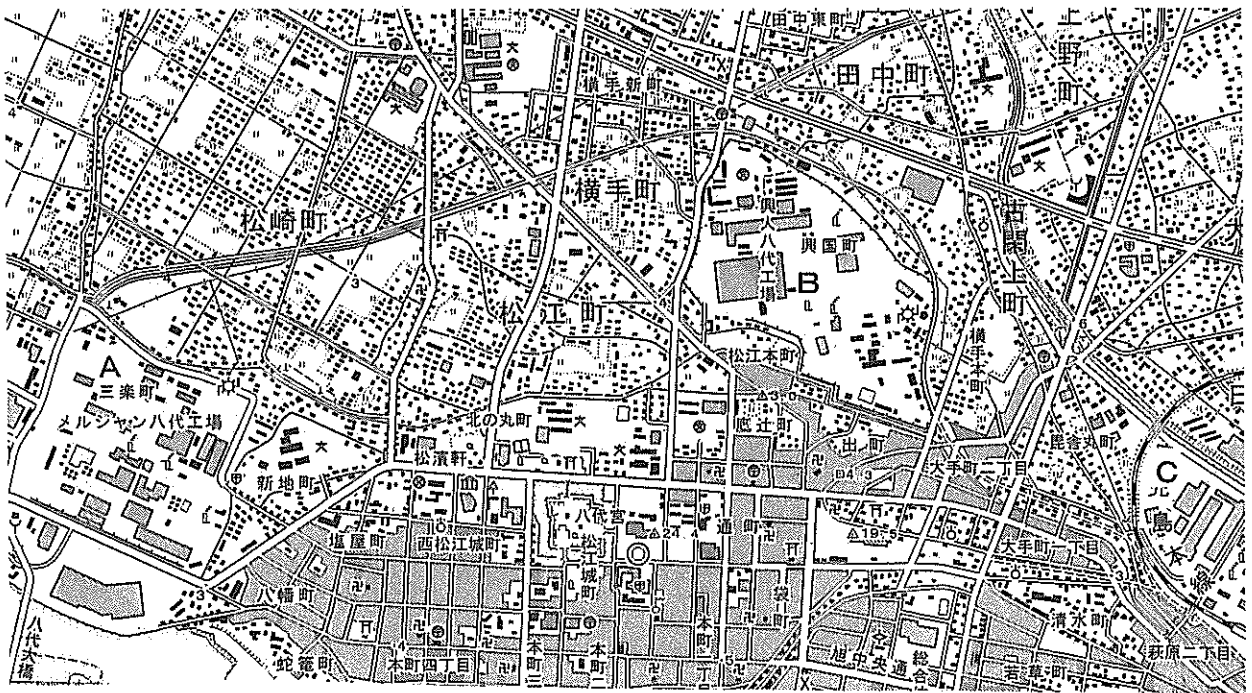


図 3

地理 B 問題は、このページで終わりである。

白 紙